



就農

を考えたら
知っておくこと



～経営事例編～



目次

1. 留意点
2. 作物ごとの経営イメージ
「新規就農者 所得目標250万円※」を
達成するための経営事例
(1) ねぎ (2) トマト
3. そのほかの作物
さつまいも、にんじん、いちご、なし
4. 資金面を支援する制度
5. まとめ

1. 留意点

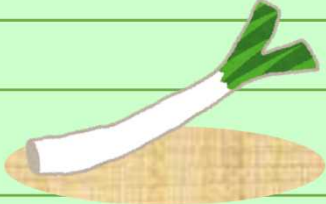
- **初期投資に実際にかかる金額**は、**営農地域・栽培方法**により変動します。
- 現金収支においては、**各種資材は先行投資**が必要で、特に経営開始1年目は**施設・機械の初期投資**が必要となります。
- **労働時間**は、各事例において主要な機械をそろえた場合の目安です。圃場条件、栽培方法、栽培技術の取得状況等により、大きく左右されます。
- 農業なので、**品目ごとに農作業の繁閑期**があります。

2. 作物ごとの経営イメージ

「新規就農者 所得目標250万円※」を達成するための経営事例

※「千葉県農業経営基盤の強化に関する基本方針」において、新規就農者の所得目標を250万円としています。（H26.4策定）

(1) ねぎ 露地栽培 秋・冬・春どり

●畑の面積	70 a	
●労働力	2人 本人+配偶者	
●年間労働時間	2,937時間	
参考 1日の労働時間 1年252日換算	およそ12時間 例：本人8時間+配偶者4時間	
●農業所得額	粗収益554万円－経営費303万円 ＝所得額251万円	
●主な 機械、施設 及び金額	全て新品の場合 およそ600万円 ネギ皮むき機（コンプレッサー）、管理機、 軽トラック、トラクター、作業場 ほか	

●主な機械施設投資費 全て新品の場合およそ 600万円


機械・施設・資材名	数量	新品購入 (万円)
ネギ皮むき機（コンプレッサー含）	1台	40
管理機（10.5 p s）	1台	38
軽トラック	1台	115
動力噴霧器（5 M p s）	1台	24
トラクター（25 p s ロータリー付）	1台	270
作業場・倉庫	1棟	100
刈り払い機（エンジン）	1台	4
背負い式動噴（エンジン）	1台	7

2. 作物ごとの経営イメージ

「新規就農者 所得目標250万円※」を達成するための経営事例

※「千葉県農業経営基盤の強化に関する基本方針」において、新規就農者の所得目標を250万円としています。（H26.4策定）

(2) トマト 施設栽培（半促成、抑制）

●畑の面積	20 a	
●労働力	2人 本人+配偶者	
●年間労働時間	3,204時間	
参考 1日の労働時間 1年252日換算	およそ13時間 例：本人8時間+配偶者5時間	
●農業所得額	粗収益750万円－経営費488万円 ＝所得額262万円	
●主な機械、施設及び金額	全て新品の場合およそ2,000万円以上 農業用パイプハウス、暖房機、防除機、 軽トラック、トラクター、作業場、パソコン、 暖房燃料費 ほか	

●主な機械施設投資費 全て新品の場合およそ 2,000万円以上

機械・施設・資材名	数量	新品購入 (万円)
農業用ハウス（暖房機込）	20 a	1,700
動力噴霧機	1 台	13
軽トラック	1 台	115
トラクター	1 台	270
作業場	1 棟	100
パソコン	1 台	10

この他に温度管理のための暖房燃料費などが必要です。

3. そのほかの作物

さつまいも (マルチ)

- 品 種：ベニアズマ、ベにはるか など
- 栽培等の注意点

：ウイルスフリー苗を用いた方が、
収量、品質が安定する。
低温に充てると腐敗しやすいので、
霜降前に収穫を終わらせる。

- 初期投資額：10aあたり 300万円～600万円
- 主要な機械：トラクター、土壌消毒器、軽トラック、
動力噴霧器、洗浄機、収穫機
- 主要な資材：マルチ（フィルム）

収益性 (10aあたり)

収穫量：2,500kg
粗収益：55万円
期待所得：19万円
年間所要労働時間：216時間



主な作型		● 定植	■ 収穫									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				●	●	■	■	■	■			

にんじん(秋冬)

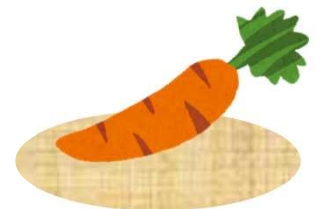
- 品 種：5寸タイプ
- 栽培等の注意点

：7月下旬～8月にかけて
播種するため、
播種～生育初期にかけて
十分な灌水が必要。

- 初期投資額：10aあたり 300万円～600万円
- 主要な機械：トラクター、軽トラック、は種機、
管理機、動力噴霧器、洗浄機
- 主要な資材：かん水チューブ

収益性 (10aあたり)

収穫量：4,500kg
粗収益：59万円
期待所得：21万円
年間所要労働時間：145時間



主な作型		▲ 種まき	■ 収穫									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
■	■	■					▲	▲	■	■	■	

4. 資金面を支援する制度

行政機関や金融機関には、
新規就農者の資金面の支援制度があります。

- 新規就農者に対する無利子の融資制度
「青年等就農資金」
- 農業を始めようとする方を応援する制度
「農業次世代人材育成資金」
 - ・ 農業技術を学ぶ研修中の支援。
 - ・ 農業を始めて経営が軌道に乗るまでの一定期間の支援。

こちらも
check!

詳細 ▶▶

就農支援資金 編 (PDF)

5. まとめ

経営事例ごとに、労働時間、所得、
施設投資などがイメージできましたか？

新規就農相談窓口や、就農相談会等を利用し、
理想とする就農の実現に向けて
十分に準備をしましょう。

